

平成23年行政事業レビューシート（外務省）									
事業名	外部有識者による評価委員会に必要な経費			担当部局庁	大臣官房			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始 平成21年度終了			担当課室	ODA評価室			室長 湊 直信	
会計区分	一般会計			施策名	VI－1 経済協力				
根拠法令 （具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第1項			関係する計画、通知等	ODA大綱				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	専門知識を有する外部有識者で構成されるODA評価有識者会議による第三者評価を実施することによって、評価の客観性・透明性を高め、評価の質を維持する。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）	ODA評価有識者会議は、ODA大綱に「専門的知識を有する第三者による評価を充実させる」ことが謳われたことを受け、評価の客観性・透明性を高めるため、平成15年度に発足させた国際協力局長の懇談会で、大学教授、NGO、マスコミ関係者等9名で構成されている。各委員は、個別評価案件の主任として、ODA評価の実施方法を策定し、評価を実施する役割を担い、定期的な会議実施により、各々の評価の相互検証及び最終承認を行う。								
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 （単位:百万円）	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	2	2	1	1	-		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
	計	2	2	1	1				
	執行額	1	1	0					
	執行率(%)	74.7	71.3	0					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 （年度）
	【成果目標】有識者会議委員が評価主任として評価を行うことで評価の質を維持する。また、年5回の会議開催を通じて、各評価案件の実施方針、実施状況、報告書及び提言案、フィードバック等にかかる相互検証及び議論を行い、ODA評価の質を向上させる。 【成果実績】評価主任としての委員の評価への関与率			関与件数 （評価件数）		9 (9)	7 (7)	0 (8)	-
				達成度	%	100	100	0	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	有識者9名が参加して年5回会議を開催する(なお、平成22年度は評価体制見直し中のため実施せず、平成23年度から新体制による実施を検討したが、国際協力局主管の類似の外部委員会の並立を回避するとの趣旨から、委員会を設置しないこととなった。)			活動実績 （当初見込み）	開催回数	5 (5)	5 (5)	0 (5)	- (0)
単位当たりコスト	評価委員会開催(21,8万円／1回)			算出根拠	5回開催、総額1,089千円支出(平成21年度実績)				
平成23 （単・24年度予算内訳）	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	謝金	833	0	廃止					
	委員(有識者)旅費	150	0						
	会議費	21	0						
	計	1,004	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度は評価体制見直しのため本件事業を実施せず。平成23年度から新体制による実施を検討したが、国際協力局主管の類似の外部委員会（開発協力適正会議）をODA評価にも活用することとし、新たな評価委員会は設置しないこととなった。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	廃止		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）		
廃止			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省
1百万円



平成22年度はODA評価有識者会議を
設置せず
0円

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					